

学 園 通 信



No. 238

九里学園高等学校 P T A

2009. 3. 1 発行



夢に向かって! 卒業おめでとう



「教育」について

学園長 九里茂三

思えば私が創立者の跡をついでこの学園の責任者となつてから、この三月でちょうど五十年になる。長い年月なわけだが、あつという間のようにも思う。

私学とは、そして教育とはと問いつづけながら、教育・特に私学において、教師としての自らの充実できた生涯を思う。それは何と云つても人と人とのつながりであつた。教師達にも私と共にその生涯をこの学園に捧げて下さつた方々が多い。彼等と共に、本物の教育とはいかがなものかを絶えず追い求めて来た幸いな人生であつた。

さて、その本物の教育とは何かについて、私は幸いに米沢藩の中興の藩主鷹山公、そして特に彼をそこに導いた細井平洲先生に多くを訓えていただいた。畏友で而も本学園の役員もお願いした元興讓館高校長大井魁氏の「細井平洲」

という著書が、とても役立った。

その幾つかの信条を次に列挙する。一、人間と生まれて来た者の有りがたさ。万物の中で天地の信誠をそなえて生まれついた人間は本来善根心を持ち性善なるものと知る事。私（九里）はそれを「人間の尊厳を知れ」と、校訓に入れた。二、「愛」がその性善を培う土壌であること、親に愛されたい子の心、子を夢中で愛する親心によつて、善い人が育ち、それが欠ければ、悪者になる。

三、人を育てるには、菊好きが菊を育てるような、「自分好み」の育て方ではないけない。百姓（農業者）が菜・大根を育てるように、色々な個性にかかわらず、いづれも大切に伸ばす事が肝要。人にも賢・不賢色々あるが、みんなそれぞれに社会の役に立つのだから。人生での成功者は、（学校時代には）余程世話をやかさせた者共

であるとも。

以上のほか、教師は、「道」を伝え訓えるが故に尊い。その自負と共に、師を尊ぶ社会が教育を可能にするとも云う。今日の日本の教育界、そして父母たちのつくる社会の有りようを考えさせられる。

内村鑑三著「代表的日本人」は、私が生涯読みつづけている名著である。その中に我が「上杉鷹山」や、

農民の指導者「二宮尊徳」、そして、偉大な田舎教師「中江藤樹」等が述べられている。この書は私が東京高等師範学校卒業の折、畏敬する担任教師、能勢朝次先生に薦められたもの。今岩波文庫に収められている。前述のほか、西郷隆盛、日蓮上人等についても述べてある。どうぞ御読みいただきたいと思う。





—知らないことばかり だから一生物学ぶのです—

学校長 九里 廣志

小さいころ、北袋町（現・春日町）にある父の実家に遊びに行つて、近くの北山原（ほくさんばら）に遊びに行ったことがありました。

今と違って、周囲には鬱蒼（うつそう）とした林や藪（やぶ）などもあって、薄暗い中に大きな白い十字架が立っていました。手に大きなクギを刺され、磔（はりつけ）にされたイエスと、その脇で祈る二人の女性の姿。恐ろしいもの見たさの興味で見えていたものです。

誰かが「昔ここでキリシタンが殺されたんだって」と言い、どういふことなのかはよくわからなくても、きっとそこにあるイエスのように十字架で磔にされたんだろうなと思うと、急にドキドキして恐ろしくなってきた、必死に走って帰ったものです。

3 昨年の十一月二十四日、この北山原や南原の糠山（ぬかやま）などで殉教した米沢のキリシタ

ン甘糟右衛門ら五十三人の信者が、長崎で行われた「列福式」で、聖人の前段階の「福者」としての位を授けられました。そして私は、その殉教の詳しいようすを『サムライたちの殉教 米沢 1629・1・12』という本で知りました。当時、会津にいた宣教師ポルロ神父がローマに送った報告書を基に書かれたものだそうです。

私が小さい頃から思っていたことと、事実は大きく違っていました。私は、江戸時代のキリシタンの処刑については、一般に言われるように、転び（転向）を迫るさまざまな拷問と、火あぶり、水責めなどの残虐極まりない処刑が、どこでも行われたものだと思っていました。燃え盛る火の中で悶え苦しむ信者の姿などを、これでもかと思えることで、キリストへの信仰を棄てさせることを狙ったも

のだったと思っていたのです。そしてそう教わり、私もそう教えてきました。しかし、この米沢の場合、斬首でした。斬首が残酷でないと言うつもりはありませんが、本の題にもあるように「サムライ」としての尊厳を守った処刑だったというのです。

多くの信者がいることは誰もが知っていました。でも「当藩にキリシタンは一人もいない」と幕府に申し出ていた米沢藩。しかし執拗で厳しい幕府からの圧力に抗しきれず、三代藩主・定勝は遂にキリシタンの処刑を決定したのです。

処刑の決定後も、米沢での信者たちは降誕祭（クリスマス）を祝つたりできたのでした。また、処刑の日も、殉教地に向かう信者たちに、多くの人々が見送りの言葉を贈つたりしたとか。信仰のために命を棄てる人たちだからと、土下座して処刑される人たちを見送つ

たとも言うのです。このような厳肅な処刑だったとは、この本を読むまで知りませんでした。

これはほんの一例です。知らないことばかりなのです。だから、一生物学び続けることが大切なのです。知らないことを知ったかぶりして恥をかかないように、卒業してから多くを学んでください。知識の豊かさは、人としての豊かさにつながるのですから。



卒業おめでとう

～ 未来という大海へ 船出する君たちへ ～

ご卒業に添えて

第三学年主任 遠藤 英



子供ははじめ大人から受動的に学び、三才までに人格形成、

六才までに社会性形成、十二才までに基礎力を身につける。そして自我（自分らしさ）が芽生え、今度は自ら能動的に学び、十五才までに人格形成、十八才までに社会性形成、二十五才ぐらいまでに実践力を身につけて、ようやく一人前になる、と言われます。三年生のみなさん、今からは、実践を通じて社会から直接学んでいく段階に進みます。就職する人も、進学する人も、みんなが「社会の一員」になっていくのです。私たち九里の教師たちは、みなさんが「社会」という大海に船出し、多くの経験を積んでそれぞれが安住の港を見つけ、そこでしっかりと根を張って良き人生を築いていって下さることを祈っています。大海には嵐の日もあればのどかな日もあります。その全てがみなさんを育ててくれます。どんなに広い海も、船

を止めない限り必ず港にたどり着きます。どうか勇氣と行動力、人や環境への感謝を大切に、学び続け成長し続けていって下さい。みなさんの前途を祝し、喜びを叫びたいと思います。卒業おめでとう！

卒業する皆さんへ



副主任 上村 英俊

卒業おめでとうございます。

高校の卒業は社会人として生きる第一歩でもあります。子供であった時代から、成長した大人としての生活が始まります。

哲学者ハイデッガーは「一瞬一瞬の行動が、その人の一瞬一瞬の人間性を決めていく」と言いました。これからは社会の中で、責任ある大人としての行動が求められるようになるでしょう。責任を持って、誠実に行動していくことが「人生を生きる」ということになるとのどと思えます。

「気づく」「考える」「行動する」ことが大切だと言われます。前述のハイデッガーは「人間は行動することにより、未来へと自分を投げかけることができるとも」も言っています。

大人として責任を受け止め、誠実に行動していく一瞬一瞬の姿が未来の自分自身を少しずつ作り上げているのではないのでしょうか。

あなたの卒業が、あなたとすべてのみんなの、さいわいとなることを希望しています。

「自分の道を拓こう」



三学年付 長岡 直浩

あなたは三年間でどのような知識を身につけ、技を磨き、自分に何を蓄えることが出来ましたか？ 回り道や迷い道を通り抜けていろいろなことを学んできたと思う。九里学園に通っていたのだから、この学校や部活動が世界の中心のように感じてきたことと思う。でも、卒業したら広い世界でもっともっと自分を磨きながら社会の一員に成らなければならぬ。新たな世界で生きる目標は立てましたか？ これからは親のように、友達のように優しく教えてくれたり、励ましてくれる人がいないかもしれない。三年間で自分に蓄えたことを糧にして勇氣を出して創造し続けて、自分の未来への道程を諦めず永遠に切り拓いて行って下さい。卒業おめでとう、お元気で！

1組

新しいスタートを

担任 岩谷 義彦



三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。みなさんの卒業を心からお祝い申し上げます。

「卒業」というと、友達との「別れ」といったちよつと寂しい言葉も連想されますが、高校を卒業することは小学校や中学校を卒業するのとは大きく異なり、まさに子供から大人への大きなステップであり、今までの自分を変える最大のチャンスでもあります。ぜひ、次のステージに向けて最高のスタートを切ってください。



卒業にあたって

飯田 駿介



卒業にあたってこの高校生活を振り返ってみると、様々なことを経験し、とても充実した三年間だった。

進路決定までの道程は辛く険しかったが、両親や友達、多くの先生方に支えられ、努力を重ねたからこそ目標を達成することができた。本当に感謝している。

卒業後は、最も聞きなれた言葉である「礼」と「讓」の精神を忘れず、自分自身を磨き上げていきたい。

卒業するに当たって

山内 大輔



私は三年間の学校生活の中で、「積極的に行動する」という目標を立て、部活動に委員会に

九里祭、ボランティアなど様々な活動に参加しました。そのおかげで、親戚な先輩や面白い後輩、そして大切な仲間達と出会い、充実した学校生活を送ることができました。私はこれから専門学校に進学しますが、そこでも何か目標を作ろうと考えています。もし在校生で目標を持っていない人は作ってみてください。生活の質が上がると思います。

2組

「己」を信じて

担任 根津 利栄



早いもので、みなさんと出会って、三年の月日が過ぎました。振り返ると、毎日、沢山の出来事

があったのではないのでしょうか。その一つ一つの出来事は、高校生活でしか得ることのできな貴重な体験であり、思い出であるということをお忘れしないでください。

これからは、それぞれの進路に向かい、新たな一歩を踏み出すわけですが、世の中の状況は入学した三年前に比べ、とても厳しい状況となっています。これから先を不安に感じている人も多いと思います。しかし、心配ばかりする必要はありません。なぜならば、まだ、みなさんには若さという最大の武器があるからです。

辛いこと、苦しいことなどあるかもしれませんが、それに打ち勝つ力を十分に持っています。己を信じ、自分にとって何が正しきことかを見極めていけば、きっと素晴らしい未来が待っています。



三年間をふりかえって

加藤 隆明



九里で過ごした三年間をふりかえって、一番印象に残っているのは、部活動の練習に取り組んでいました。

一年生の時に腰を怪我してしまい、長い期間練習ができない日が続いてしまいました。何度も辞めたいと思った時がありました。仲間への支えがあったからこそ、克服することができたのだと思っています。

こんな、誇りに思える最高の仲間に出会えて本当によかったです。

高校生活で頑張ったこと

高橋 優規



私が三年間で一番心に残っていることは、部活動のバスケットボールです。私

たちは県大会出場を目標にして部活動に取り組みました。とても少ない人数だったので練習や試合の時とても大変だったと思います。辛い練習をみんなで頑張り、目標の県大会にも出場することが出来ました。私は部活動で学んだことを社会人になっても忘れずに頑張っていきたいと思っています。

3組

道

担任 小山田 努



卒業おめでとう。
 高校生活は皆さん
 にとつてどんな三年

間でしたか？卒業後は進学や就職とそれぞれの「道」に進んでいくわけですが、どんな「道」を切り開いていくのでしょうか？ある人はこのように言っています。
 「この道を行けばどうなるものか 危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし 踏み出せばその一足が道となり その一足が道となる 迷わず行けよ 行けば分かるぞ」



感謝の三年間

巻坂 駿



私は生徒会やHR運営委員、部長などいろいろなことをしてきました。しかし、このように

うにできたのも友達や先生方のおかげだと思っています。入学したの頃は、誰も知らない人ばかりだった私も、今では多くの友達がいり、協力してくれます。九里の先生方は、生徒一人一人、熱心に指導してくださるので、困ったときは、アドバイスをしてくれます。又、陰で支えてくださった家族にも感謝しています。この学校に通えて本当に良かったです。三年間ありがとうございました。

九里学園での三年間

山口 廣紀



礼と譲の精神にのっとり、他に類を見ない活動を展開している九里学園。私はこの高校を選び、三年間を過ごしてきた。

どんな進路にも対応できるように、熱心に先生方が指導してくださった。部活動に明けくれてあつという間に時が経ち、卒業が目前に迫ってきた。この伝統ある学校で学んだことを誇りとし、出会った人々への感謝を忘れずに、未来がよりよいものになるよう日々努めていきたい。三年間ありがとうございました。

4組

人生には・・・

担任 横山 明良



三年四組の生徒諸君、卒業おめでとう。新しい世界に踏み出すみんなに言葉を贈ります。『人生には三つの道がある。逃げ出すか、傍観するか、飛び込むか。』

これは映画の台詞の一部です。これからの人生の中で多くの困難に遭遇するでしょう。そんな時、決して逃げ出すことなく飛び込める人になって下さい。そんな人の周りには、常に仲間がいます。そんな人は常に輝いています。成長し続け、心の美しい女性になって下さい。



高校生活

安部佐紀子



九里で過ごした三年間は、今思えば本当にあつという間でした。特に三年

生は部活動や行事など全部が最後となり、全てにおいて一生懸命に、そして楽しく取り組むことができました。部活動では、熱心なコーチ・先生、何時でも私の心の支えになってくれた仲間から常にいろんな刺激をもらって成長することができました。この三年間で、私は先生や仲間から多くのことを学びました。そのことに感謝し、新しい道に進んでいこうと思います。

卒業を迎えて

田畝かほる



私が九里に入学してから早くも三年が経ち、高校生活が終わろうとしています。九里

での三年間は本当にあつという間でしたが、とても充実していました。部活動では新しい仲間と毎日汗を流し、研修旅行では沖繩へ行き普段の生活では出来ない体験もしてきました。この他にも九里でしか学べないことはたくさんあり、とても貴重な三年間になりました。三年間で多くのことを学び、私を大きく成長させてくれた九里学園に感謝します。

5組

幸せな人生を送るコツ

担任 鈴木 涼子



笑顔で過ごすこと。心が疲れたら、美しいものや楽しいことを思い浮かべてリラクゼーションすること。落ち込んでもいいけれど、自分勝手にならない、他人に迷惑をかけること。友達や家族など、大切な人には優しく接すること。自分より素敵な魅力を持っている人を羨ましがっていいけれど、嫉まないこと。そして、自分自身を大切に努力していくこと。これからの長い人生の中で、みなさんが踏み出す一歩が全て「幸せ」につながっていることを心から願っています。卒業おめでとう！

自分を変えた場所、九里学園

佐藤つかさ



私が高校一年の時、最初はただなんとなく学校生活を送り、執行委員や運営委員をする事もなく毎日のようにだらだらと不真面目な生活を送っていました。

しかし私はある時、自分を変えられるのは今なんじゃないかという事気がついたのです。そして私は、それをきっかけに様々な事に取り組んできました。その中で私は大きく成長し、変わる事ができました。ありきたりな言葉がもしれないけれど「今というの今しかない」のです。だから、一日一日を大切に悔いの無いように生活していきたいと思えるようになりました。九里で皆と笑い合っただけでいい事、決してあたり前ではありません。私はここで過ごしてきた事を一生忘れません。

ありがとう

高橋由佳梨



私は、ソフト部に所属し六人の新しい仲間と出会い、共に沢山の汗と嬉し涙と悔し涙を流した部活は最高の青春でした。

学校行事では、クラスのみならず全力で取り組み、行事を重ねることに絆が深まっていきました。

私は、高校で沢山の人の出合い、沢山の事に支えられてもらったおかげでとても充実した高校生活を送ることができました。九里学園で過ごした三年間の思い出は、私にとって大切な宝物になりました。本当に「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。何事も全力で取り組み充実した三年間になると思います。在校生のみなさん、悔いのない高校生活を送ってください。



6組

「感謝の心」を忘れずに

担任 吉田貴美子



卒業生の皆さん、そして今日まで支えて下さいました保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。この二年間でお礼を申し上げます。この二年間で沢山の貴重な思い出をいただきました。何よりも心に残るのは一人一人の人間としての「心の成長」を実感する瞬間でした。十八才までに自分の力で立ち上がり歩き出す力を身に付けた事は人生の土台となります。九里で学んだ「心」「感謝の心」を忘れずに元気に活躍して下さることを願っています。

「心の大切さ」を学んで

高橋 美香



私の高校生活はとても充実した三年間でした。もう「卒業」という言葉を聞くことという間違ったなあと思いました。新しい環境の中でさまざまな思い出がありました。特に私は三年間の部活動です。陸上競技部に所属してきて、大会・合宿・練習などの経験でたくさんの「心」を強くできました。「競技者として上を目指す心」「仲間、先生方、家族を信じる心」「自分のマイペース思考なところを直す心」など学びました。部活動だけでなく、学校生活でも心を学びました。これを卒業するにあたり、今度は「社会人としての心」を学びたいです。立派な社会人になれるように、私は「あいさつ」から心を変えたいです。

感謝

土屋 汐里



九里での三年間を振り返ってみると、部活思い浮かぶのは、部活動です。三年間共に、一つの目標に向かい汗を流し、笑い合い、時には言い合い、そして涙を流し。辛い時も楽しい時もお互いに助け合ってきた仲間。私はそんな素敵な仲間と出会えたことに感謝しています。そして、支えてくれた両親。私もいつも応援し、励ましてくれた。一番感謝の気持ちで一杯です。私は、三年間部活動をして、「感謝の気持ち」これをお忘れはいけないということ学びました。当たり前だと思わず、何事にも感謝していくことは大切です。これから卒業し、社会に出ていきますが、感謝の気持ちを忘れない立派な社会人になっと思っています。



7組

夢に向かって進め!!

担任 我妻 孝



御卒業おめでとう。三年という期間の中で楽しかった事、苦

しかった事、様々な事を体験したことでしよう。今日まで支えてくださったご家族のみなさんへ感謝の気持ちを忘れず、生活してほしいものです。九里学園で学んだことを誇りに思い、熱中できる事を見つけて目標のある、行動力のある、進歩のある者になって成長してほしいと思います。そしていつまでも夢を持ち続け、その夢に向かって一生懸命生きてほしいと願っています。



感謝

今井 綾香



私の三年間は、部活・生徒会とあつと言う間の日々だったように思います。私は生徒会副会長として様々な行事を企画・運営してきました。そんな中、なによりも仲間の存在があったからこそ乗り越えられたんだと思います。

また、部活でも、辛い時に共に戦ったメンバーがいてくれたからこそ、今の自分がいるんだと実感させられました。私は、全てにおいて「感謝」の気持ち忘れず、これからも生活し、働いていきたいと思っています。

三年間を過ごして

工藤香奈子



九里学園で過ごした三年間は、私にとってとても充実したものでした。沢山の仲間に出会い、多くの経験をしました。人として、心も体も大きく成長することができたと実感しています。がむしゃらに仲間と共に頑張った部活、クラスの仲間と笑い合った日々、すべてが大切な思い出になりました。部活の仲間や大切な友達支えて下さった先生やコーチに出会い、九里学園で過ごすことができたことを本当に嬉しく思います。

8組

プロコース二期生として

担任 片平 淳



一年生の時は数学の授業担当者、二年生からは担任として、合計三年間君達と過ごしてきましたが、その役割は果たせたかな? 答えは十年後の君達の姿に。無限の可能性の未来に飛び立ち、活躍されることを祈願します。

三年間同じメンバーで、お互い気の知れた存在。それは私の高校の時と同じであり、そんな君達はすくく羨ましく見えたし、また楽しい毎日ではなかったでしょうか。たった十人のかけがえのない仲間だからこそ、それぞれを大切に、いつの日か全員で再会できることを期待します。プロコース二期生のみなへ、ありがとう。

ONE STEP!!

大橋 尚之



私は、この三年間で勉強と部活を両立することに励んできました。

初めは、少ない人数で授業を受けることに戸惑いを感じていました。しかし、徐々に少ない人数に慣れ、良さを感じ、積極的に先生に質問したりといった風に、授業に取り組むことができました。

勉強だけではなく、ハワイ研修といった、他の国の人や文化と触れ合い、今までにない素晴らしい体験をしてきました。

部活動では、バスケットボールで、最後の地区総体で四年振りの県大会出場という経験を味わうことができました。この三年間色々なことがあり、親先生、仲間にも助けられながら過ごすことができました。本当にありがとうございました。

「プログレス」な三年間

平吹伊久美



私の三年間の高校生活は、とても充実したものでした。勉強は勿論、部活動や学校行事にも一生懸命取り組み、九里学園の「プログレス」コースとしての素晴らしい日々を送ることが出来ました。それは偏に、私を支えてくれた家族、クラスの仲間、部活動の仲間、そして多くの先生方の存在があったからこそです。本当にありがとうございました。この九里学園で学んだことを大切に、新たな境地でも精一杯頑張ります。



先輩へ 後輩へ

贈ることば

贈る言葉

元生徒会長 小山 直希



今回、私は後輩に贈る言葉について依頼されました。私が

後輩に贈る言葉は、「一生懸命に頑張ること」です。勉強・部活動・生徒会活動・委員会活動・ボランティア活動など、一人一人頑張る物は違うと思います。私は、一生懸命頑張ることに意義があると思います。一生懸命頑張っても結果が付いてこなかったり失敗してしまったりすることもあるでしょう。ですが、次に何かをするときにその頑張りが生きていくと私は思います。

私は、生徒会活動を頑張ってきた色々な失敗などもありましたが、その頑張ってきたことは、社会に出てから役に立つと思っています。

今、役に立たなくてもこれからの人生のどこかで役に立つと思うので一、二年生の皆さんは勉強や部活動などを一生懸命頑張ってください。活躍を期待しています。

誇りを胸に

一年一組 高橋 呈侑



三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。九里

学園で学んだ数々の事を、これからの人生に役立ててください。そして、九里学園の生徒であったことに誇りを持って社会に出て活躍してください。

新たなスタート

一年四組 鈴木沙有理



三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。部活、各行事

で私達を引っ張っていた先輩の姿は、とても輝いていて私達の目標となりました。これから新たなスタートを切ると思いますが、九里で学び、経験したことを活かして頑張ってください。

進むべき道へ

一年六組 鈴木 悠希



三年間の高校生活、ご苦勞様でした。先輩方は私達一年生にとって、

とても大きな存在で憧れました。これからそれぞれ違う道を行くと思いますが、悔いの残らないように、自分の道につき進んでいってください。

三年生へ

二年二組 遠藤 康太



三年生のみなさん、三年間の高校生活、ご苦勞様でした。三年間

色々なことがあったと思います。これから新たな進路へ向けてスタートしますが、この九里学園で学んだことを忘れずに、さらなる活躍が出来るように頑張ってください。三年生のみなさん、今までありがとうございました。

先輩方へ

二年四組 羽田 美穂



ご卒業おめでとうございませう。この学校に入学してからの三年

間を過ごしてきた思いが先輩方一人一人にあると思います。それを忘れずにこれからも頑張ってください。短い間でしたが、ありがとうございました。

負けないで!!

二年七組 色摩 友佳



三年生のみなさん、御卒業おめでとうございませう。高校生活三年

年で得たものは生涯を通してかけがえないものになると思います。生きていけば皆さんの壁にぶちあたるでしょうが、負けずに壁をぶち抜いていってください。

ハードルを乗り越えて

三年一組保護者 鈴木多寿子

小中学校と違い、高校受験というスタートラインは、親子共に不安がありました。高校に入学してからも未知なことが多く、行事があるたびに、子供に声掛けし様子を聞いては少しでも子供に近づこうと努力してきたように思います。中でも一年生のオーストラリアへの修学旅行は、子供以上に親の方が不安になり、説明会や書類を見て無事に帰って来れるだろうか心配したものです。

しかし、親が思うより子供の方が行動できるようになってきているのだと帰って来た息子を見て安心しました。この三年間でクラスの仲間や先生方に助けていただいて一つ一つのハードルを乗り越えてこれたことを感謝しております。

卒業に当たり、親としては今まで以上の不安はありますが、子供を信じて遠くから見守るといふ子離れの学習をしなければいけない時期がきたのだと考えています。しかし、いつまでも親はあなたを見守っています。困ったときは声を掛けてください。親子で社会人として生きていくための努力をしていきましょう。

自分に自信を持って

三年二組保護者 佐藤 千春

高校生活の三年間を振り返りまして、何より大きな病気もせず、怪我も無く、そして、毎日充実した学校生活を送ることが出来、この度、卒業を迎えられました事を校長先生はじめ諸先生方、PTA役員の皆様、クラスメイトのみんなに心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。

持ち前の協調性を大事にし、時には自分の主張もいいと思います。何でも話せる親友と呼べる仲間を大切にして下さい。時には、辛い事もあるでしょうが、それを乗り越えた時、自分に自信が持てると思います。逃げずに受け止めて、ピンチをチャンスと考えて下さい。自分に自信を持って自分を好きになって下さい。

サッカー頑張りましたね。ご苦労様です。

友

三年三組保護者 高橋 千代

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

楽しく輝いている時の時間が過ぎるのは実に早いものです。しかし、時間が経過しても、経験したことや、培った友情は、あなた方の財産として残ります。それを大切にして下さい。これから生きていくうえで、それが一生の宝物と気づく日がきっと訪れることと思います。九里学園で過ごした三年間の経験を土台として、ひとりひとり進む道は違うけれど夢と希望に向かって、さらに大きな人間に成長してくれることを祈っております。

最後に学校長始め諸先生方には、子供達をいつも温かい目でご指導をさせて頂き本当に有難うございました。

夢に向かって

三年四組保護者 小川 恵子

卒業おめでとうございます。

大好きなバスケットボールを続けていきたいと、九里学園に入学しました。毎日の練習と土・日曜日は練習試合に行く姿を見ている私たちは感心していました。でも、三年間必ずしも順風満帆とはいかず、悩み、苦しんだ時が多かったようですが、顧問の先生を始め諸先生方の温かい言葉やアドバイス、そして励ましてくれた友達のお陰で困難を乗り越えることが出来たと思います。それが本人を大きく成長させることが出来たと、感謝しております。

とは言え、運動大好き人間としては、もう少し運動を続けたいということ。自分で決めた道、何があっても、前向きに、焦らずくじけず、じつくり進んでくれることを望みます。そして学園生活で培った精神力で、夢に向かって進んでください。

卒業おめでとう

三年五組保護者 中川 健義

九里学園を卒業される三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。この九里学園の三年間は、多くの出会いがあり、そして学びを体験し、親から見てもたくましく思えるようになりました。それは学園長や校長先生の教えでもある「礼」譲」という精神のもとで学んでこられたみなさんだからだと思います。卒業後、就職する人、専門学校や大学で学ぶ人、それぞれに新たなスタートを切るようになりますが、人生一生いつも勉強です。将来共にすばらしい人生を歩むためにも、どんな場面でもこの三年間で学んだことをバネにして、自分の足でしっかり歩んでほしいと思います。そしてすばらしい社会を築いていく一員として活躍されることを希望します。

「569」キョウ「569」

三年六組保護者 黄木 誠

ご卒業おめでとうございます。
十七才の尊い「いのち」が誕生して十八年が過ぎようとしています。君達が生まれて来てくれたお陰で、私達は親になる事が出来ました。生まれて来てくれてありがとうございます！

君達の年と私が親になった年齢は同じです。
幼稚園に入り泣きながら頑張りました。そして小学校に通った六年間、思春期になりあつという間の中学三年間、そして大人になった気分の高校三年間、いろいろあつたけど、共に頑張つて生きて来ましたね。

「いのち」って尊いのです。この地球上で生物が誕生してから数十億年、命のリレーが途絶える事なく続いてきたお陰で、私達の命があるのです。親がいて、又その親がいて、又々その親がいる。不思議です。

君達が生まれて十八年。いろんな人との出会いがあり、たくさんの人に支えられて来ました。未来のある君達！これからもたくさんのお会いがあるでしょう。楽しい事、うれしい事、つらい事、悲しい事……。で

もそれが君達を成長させてくれるのです。

どうぞお会いを大切にして下さい。未来へ向かう君達へ！！

九里学園卒といふ誇り

三年七組保護者 高山 栄

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

これから社会人、又は学生として社会の一員となります事をとても嬉しく思います。

思い起こせば娘が入学してまもなくの保護者会で九里校長が「入学してほつとされているかも知れないが、三年間は本当に短いので卒業後の進路について今から子供さんと話し合つて下さい。」と言われた事から、九里学園は卒業後の進路と子供の自立、社会に出ても恥ずかしくない心構えを教えてください、まさに礼と譲の溢れた学校なのだと私自身感激したのを覚えています。九里で三年間過ごした君達の方が、この学校のすばらしさを分かっている事でしょう。本当にのびのびと明るい姿は輝いていました。

九里校長始め、心熱き先生方にこの九里学園で学ばせて頂いた誇りと自信を持つて未来に発展していかれることを信じています。

『未来予想図Ⅲ・Ⅱ』

三年八組保護者 平吹 正典

三年前、桜の季節、入学式、記念写真撮影の時、校長先生が十名のクラスを見て、まるで分校のようだとおっしゃっていました。本当に、このメンバーで切磋琢磨して、頑張つて行けるのだろうか、ふと、不安がよぎったことが昨日のようです。振り返れば、本当にあつという間の三年間お互いの人格を認め、尊重して仲間意識を高め、すばらしいクラスに成長して、いま卒業を迎えようとしています。

この先、すばらしい人生を切り開く切符を手にするあなた方が、十年、二十年と歩み、その道を振り返つた時、高校三年間がんばり、それぞれの進路を真剣に決めたことが、かけがえのない『未来予想図』となり、いつかまた笑顔で再会し、先生を囲める時を持てるように、みんなとだから……。

これからも、私達は、見守つていきたい。

和やかであたたかく

長井・白鷹支部長 青木 文雄

二月七日、PTA長井・白鷹支部の二十年度の活動を締めくくる「新春及び卒業を祝う会」が開かれた。保護者の参加が、二十一名の会員中九名と、ちよつと淋しい感はあるものの、会はとても和やかであたたかい空気につつまれ、夜遅くまで談笑が続いた。

長井・白鷹支部は、二十年度の会員数二十一名というこぢんまりとした会。主な活動は、五月の一年生保護者会、七月の総会、そして二月の卒業を祝う会の三つで、その合間に役員会を開いている。

悩みの種は会計のやり繰り。特に二十年度は新入会員が二名と、会費収入が一挙に収縮したため、東北大会以上に進出した生徒にお祝いとして支出している部活動支援費を減額し、役員会での飲食費も全額自己負担にするなどして、何とか乗り切った。

卒業を祝う会の席上、役員をずつとお願いしてきた方から、支部の集いに来ると心がほぐれ、本当に楽しかったという言葉をいただいた。そんなぬくもりのある支部で、今後もやりたい。

「教育懇親会」を実施して

川西支部長 吉田 邦夫

川西支部では毎年「教育懇親会」を実施しております。

目的は、酒を酌み交わし川西支部保護者の親睦を深めることです。又、親睦会の前に支部ご担当の先生より進学や就職に関する状況をご説明頂いております。

今年度は、これまでとは違い

①大学や専門学校進学後の就職状況②就職者の二〜三年後の就職状況と離職者の意識変化③学校側から保護者に希望することなどのサブテーマを事前に先生にお伝えし、講話をお願いしました。

今回は、百年に一度と言われる世界的大不況による就職内定者の

取り消しがメディア等で話題になり始めた時期と重なり、私たち卒業生を持つ保護者にとって非常に関心が高く普段聞くことが出来ない内容なども資料に盛り込まれており、非常に充実した内容でした。今後の課題としては、より多くの川西支部の保護者にご参加頂く為に企画の充実を図っていききたいと思えます。

南原支部の活動について

南原支部長 湖山 真

六月に総会を行い、学校長を囲んで、懇談会、懇親会を行ないました。平成二十一年に大河ドラマ「天地人」が放送され、南原がゆかりのある地域との詳しい話などが出て、有意義な総会でした。

一月十六日(金)新年会も兼ねて学校長の講話をお聞きしました。学校長からは、今の生徒の状況と昔の生徒の生活の違いを親の私達は思い出させてもらい、今後の私達保護者の方向を考えさせて

もらいました。

二月十日に三年生を送る会を行います。昨年はテーブルマナーを実施しましたが、今年は、ボウリング大会と、夕食会を実施する予定です。ありふれた内容かも知れませんが、子供達の意見を本年度は重視した会となりました。

飯豊・小国支部活動

飯豊・小国支部長 山口 淑雄

今年度、飯豊小国支部長を務めさせていただき、保護者の皆様のご協力のお陰で、活動計画六月と十一月の駅舎清掃と支部所有のプランターに花を植える作業を実施しました。夕方は校長先生を始め担当の先生方を交え総会、懇談会です。総会、懇談会では、色々な意見等が出され今後の活動に活かされる深い議論が出来ました。色々な活動、行事において一番大切なことは、親同士が協力し合う事だと考えます。来年度も、よりよい支部活動を期待しています。

高畠支部活動について

高畠支部長 鈴木 司郎

私たち高畠支部は現在五十二名の会員で運営しております。今年度、支部長に就任することとなり、支部活動の重点目標に、一人でも多くの会員が気兼ねなく参加していただき、会員相互の親睦、親子のふれあい、学校との情報交換の場をさらに深めていこうと考えました。年度初めの総会、年三回の役員会、そして今年は重点目標にも掲げた親子行事も三年ぶりに復活させていただきました。

九月の末に、糠の目の生涯学習館中庭をお借りして、野外でのバーベキュー、いも煮会、ビンゴゲーム等を盛大に行いました。参加者は、子供たちも入れて二十五名位集まり、校長先生、鈴木先生にもご参加いただき、手作りのご馳走を食べながら大変有意義で楽しいひと時を楽しむことができました。役員、会員の方々ははじめ、参加してくれた子供たち、先生方にも大変感謝申し上げます。

不安定な時代の中で、親子のかかわりや絆、学校生活での生徒と先生のコミュニケーションのあり方など、身近な中にも再確認しなければならぬ大変重要なことだと思えます。それぞれの支部活動においても運

営の方法、会員の参加意識の向上にご苦労なさっていることと思えますが、まずは行動、そして呼びかけが大事だと実感しております。

最後に三年生の保護者の皆様お子様の卒業おめでとうございます。そして、支部活動に多大なるご協力を賜りました会員の皆様、先生方誠にありがとうございました。うございました。



明るく楽しい第三支部

米沢第三支部長 齋藤 晋

皆さんこんにちは!!本年度PTA米沢第三支部長の齋藤です。第三支部は一年を通して親子で楽しく遊ぶ場を作りたいと思いました。十月十三日体育の日に九里学園にて松田みつひろ先生を招き、親子で速読の勉強をしました。先生はまだ若くともエネルギーシユな方で幅広くいろいろな場所で活躍しています。参加人数は少なかったのですが、その分とても内容の濃い勉強でした。今こそ夢や希望をもって生きて

支部活動

いくために自分をしっかり持って夢に向かって一歩ずつ進んでいただきたく、大人も子供も元気になれるようにと思つて第三支部は活動しております。あとは、二月二十二日金剛閣にてテーブルマナーをかねて、三年生を送る会をしました。社会に出てから、そういう場面に遭遇するかわかりませんが、そんな時に思い出してほしいですね。これからのいろんなことがあつて楽しみがいっぱいある三年生に少しでも多くの思い出がのこるように企画しました。一年間支部長をしていろいろな人に出会えて勉強させていただいて本当に感謝しております。ありがとうございました。

年間支部活動を振り返つて

米沢第七支部長 我妻 幸子

平成二十年度支部長を仰せつかり、その重圧を感じている間もな、例年の活動を遂行してきたように思います。六月の「支部総会」からはじまり、九月十五日は「学校林の整備(例年ない活動&ボランティア)」に参加致しました。

学校林は、あるのは知っておりますが、同じ地区にあつても場所も何の木かも定かではなく、校長先生はじめ笹原先生、横山先生、今井造園の方達の邪魔にならないようにしていることだけで精一杯でした。雑草がなくなつて来年の桜が楽しみです。半日とはいえ、草刈機やカマを持参して、気持ちよく参加依頼をお引き受け下さったお父さんやお母さん達に感謝です。十二月十一日は恒例の「親子ボウリング&夕食会」、二月には年間活動最後の、「送別懇親会(親)」を滞りなく終了することが出来ました。七支部の団結力の強さを発揮しながら、これからも支部活動を盛り上げていこう!!と思つている。今日この頃です。最後になりましたが、片平先生・横山先生、一年間本当にありがとうございました。



平成二十年度 第三学年褒賞受賞者

() 内の数字はクラス名

学習活動優秀賞

- 井上 裕人(1) 小山内 望(1)
- 高橋 謙(1) 渡部 透(1)
- 遠藤 綾(2) 金子 政貴(2)
- 高橋 優規(2) 板垣 貴大(3)
- 尾形 慶弥(3) 鈴木 潤(3)
- 関本 和馬(3) 巻坂 駿(3)
- 山口 廣紀(3) 安部 佐紀子(4)
- 市川 栞(4) 梅津 奈未子(4)
- 遠藤 知世(4) 近野 彩香(4)
- 菅原 麻優子(4) 田畝 かほる(4)
- 相澤 美緒(5) 伊藤 実花(5)
- 今井 朋子(5) 金田 沙織(5)
- 小関 美月(5) 後藤 景(5)
- 前山 めぐみ(5) 安部 春香(6)
- 大比良 恵里佳(6) 高橋 美香(6)
- 富岡 紀子(6) 工藤 香奈子(7)
- 工藤 美香(7) 佐藤 舞(7)
- 志賀 汀(7) 相田 拓樹(8)
- 秋葉 紀子(8) 三條 優(8)
- 平吹 伊久美(8)

特別教育活動〈功労賞〉

- ◆小倉百人一首 尾形 百合恵(4)

特別教育活動〈優秀賞〉

- ◆陸上競技部 男子
 - 齋藤 圭佑(1) 木村 信謙(2)
 - 安孫子 俊志(3) 山口 廣紀(3)

◆陸上競技部 女子

- 小関 美月(5) 後藤 景(5)
- 舟山 侑里(5) 高橋 美香(6)
- 金田 沙織(5) 本田 櫻(4)

◆卓球部

- 井上 裕人(1) 伊藤 聖人(2)
- 種部 竜志(2) 田畝 かほる(4)
- 新野 美香子(4) 後藤 理絵(6)
- 佐藤 舞(7)

◆ソフトボール部

- 渋谷 知恵美(4)

◆テニス部

- 渡部 恭兵(1) 太田 遥香(4)
- 佐藤 つかさ(5)

◆新聞部

- 伊藤 実花(5) 今井 綾香(7)

◆生徒会

- 小山 直希(1) 今井 綾香(7)
- 南雲 望美(5) 太田 淳子(4)
- 佐藤 博美(4) 篠原 幸子(4)
- 菅原 麻優子(4) 近野 彩香(4)
- 金子 政貴(2) 鈴木 研一郎(1)
- 中川 朋子(4) 江村 卓真(2)
- 加藤 哲朗(1)

◆保健厚生委員会

- 新野 美香子(4)

◆図書委員会

- 加藤 哲朗(1) 中村 雅俊(3)
- 相田 拓樹(8)

特別教育活動〈努力賞〉

◆男子バスケットボール部

- 大橋 尚之(8) 樋口 徹也(8)
- 小山内 望(1)

◆女子バスケットボール部

- 大竹 茉未(4) 太田 淳子(4)
- 市川 栞(4) 小川 菜摘(4)
- 伊藤 郁美(5) 土屋 汐里(6)
- 情野 美里(6)

◆バレーボール部

- 田村 圭子(4) 今井 朋子(5)
- 八巻 志帆(5) 後藤 沙也香(6)
- 鈴木 詩織(6) 高橋 由衣(6)
- 今井 綾香(7) 齋藤 麻衣(7)
- 佐藤 千帆(7)



◆陸上競技部 長谷川 裕(1)



◆ソフトボール部

窪田 泰葉(4) 高橋 由佳梨(5)
 皆川 亜衣(6) 吉田 睦実(7)
 平吹 伊久美(8)

◆バドミントン部

飯田 駿介(1) 情野 翔太(1)
 添川 陽太(1) 江村 卓真(2)
 遠藤 陵平(2) 金子 政貴(2)
 渡邊 達也(2) 鈴木 潤(3)
 関本 和馬(3) 山吉 加寿哉(3)
 我妻 健太(3) 菊地 高広(8)
 安部 佐紀子(4) 新藤 美花(5)
 前山 めぐみ(5) 工藤 香奈子(7)
 船山 真希(7)

◆弓道部

巻坂 駿(3) 南雲 望美(5)

◆剣道部

加藤 哲朗(1) 山内 大輔(1)

◆野球部

川原 岳斗(1) 倉敷 修士(1)
 斎藤 吏(1) 菅原 亮(1)
 鈴木 慧(1) 長谷部 光洋(1)
 渡部 透(1) 安部 正孝(2)
 遠藤 綾(2) 加藤 隆明(2)
 加藤 拓己(2) 倉田 貴裕(3)

◆サッカー部

東谷 洋介(1) 佐藤 徹也(2)
 新野 伸和(3) 高橋 純一(3)
 多田 裕太(3) 皆川 政孝(3)
 横澤 絢香(5) 菊地 可奈子(6)

◆テニス部

西郡 銀司(1) 長岡 隆平(3)

◆吹奏楽部

遠藤 知世(4) 佐久間 ちひろ(5)
 山口 由佳(5) 青木 聡美(8)
 佐藤 博美(4) 横山 聡美(6)
 富岡 紀子(6) 長澤 優香(4)
 角屋 瞳(4) 高橋 真紀(7)
 志賀 直樹(2) 安部 美雪(5)
 今井 薫(5) 大竹 由恵(5)
 新野 恵(4) 松田 久美(8)

◆茶道部

高橋 咲(7) 高橋 志歩(7)
 山口 妙子(7) 大場 美咲(5)

◆書道部

遠藤 美穂(5) 足立 貴恵(4)

◆美術部

榎本 美波(4) 田制 千栄美(4)
 梅津 奈未子(4) 高山 智愛(7)
 原田 美咲(7)

◆JRC部

小関 聡美(7) 沼澤 由佳(6)
 横山 弥生(6)

◆文芸部

佐々 瑛里香(5) 安房 未紗樹(6)

◆生活科学部

中川 朋子(4) 工藤 美香(7)

◆ダンス部

篠原 幸子(4) 中村 あゆみ(4)
 黄木 身智子(6) 鈴木 恵(6)

◆PC愛好会

高橋 俊樹(3)

●三年間皆勤賞

加藤 哲朗(1) 齋藤 圭佑(1)
 遠藤 綾(2) 卷坂 駿(3)
 安部 佐紀子(4) 沖田 華子(4)
 佐藤 あゆみ(4) 菅原 麻優子(4)
 中川 朋子(4) 中村 あゆみ(4)
 藤巻 はるか(5) 後藤 理絵(6)
 平吹 伊久美(8)

●一年間皆勤賞

高橋 謙(1) 東谷 洋介(1)
 長谷部 光洋(1) 遠藤 陵平(2)
 種部 竜志(2) 渡邊 達也(2)
 尾形 慶弥(3) 高橋 俊樹(3)
 市川 栞(4) 遠藤 知世(4)
 大竹 栞未(4) 太田 淳子(4)
 窪田 泰葉(4) 篠原 幸子(4)
 田制 千栄美(4) 田畝 かほる(4)
 田村 圭子(4) 長澤 優香(4)
 新野 実花(5) 相澤 美緒(5)
 伊藤 美月(5) 後藤 朋子(5)
 小関 美月(5) 南雲 望美(5)
 高橋 由佳梨(5) 青木 喜子(6)
 八卷 志帆(5) 青木 喜子(6)
 安部 春香(6) 大比良 恵里佳(6)
 鈴木 詩織(6) 鈴木 恵(6)
 土屋 沙里(6) 富岡 紀子(6)
 漆山 恵子(7) 遠藤 香織(7)
 工藤 香奈子(7) 工藤 尚之(8)
 佐藤 千帆(7) 大橋 尚之(8)
 菊地 高広(8)

●読書感想文優秀賞

情野 翔太(1) 新野 美香子(4)
 島崎 詩織(5) 安部 春香(6)
 後藤 沙也香(6) 佐藤 舞(7)
 相田 拓樹(8)

平成二十年度 進路状況について

進路指導課長 熊澤 広 二

今年度の進路希望は、就職三九%、進学が六一%と昨年に比べて就職の割合が数%増加しています。

就職は、地元置賜地区の求人数が昨年より減少し、地元希望の生徒には厳しい状況でした。県内職種別では、生産工程、販売、事務が減少し、福祉などの専門職が増加しています。このような厳しい環境の中でも本校生徒は熱心に就職活動に励み、例年通りの成果を達成できました。生徒の皆さんが進路実現への真剣な取り組みと保護者の皆様のご支援に深く感謝しております。

大学・短大進学では、AO入試が普及し、推薦も指定校を含め希望者が多く、早期の進路決定を勝ち取る生徒が増えています。一方、プロダレスコースを中心に、大学入試センター試験に臨み、半数が国公立や難関私大を目指すなど、一般入試受験の生徒も少なからずいて、毎年着実に進路実績を向上させています。

◆H20年度卒業生の進路別状況◆

平成21年2月20日現在

	就職希望者			進学希望者				家事その他	合計
	県内	県外	小計	大学	短大	専修各種	小計		
男子	28	10	38	34	0	22	56	10	104
女子	29	28	57	16	25	40	81	2	140
合計	57	38	95	50	25	62	137	12	244

◆就職関係(内定状況)◆

	県内希望				県外希望				合計			
	学校斡旋	学校斡旋内定者	緑故	緑内定者	学校斡旋	学校斡旋内定者	緑故	緑内定者	学校斡旋	学校斡旋内定者	緑故	緑内定者
男子	23	23	5	5	10	10	0	0	33	33	5	5
女子	26	26	3	1	28	28	0	0	54	54	3	1
合計	49	49	8	6	38	38	0	0	87	87	8	6
内定率%	96%				100%				98%			

◆進学関係(合格状況)◆

	大学		短大		専修各種		合計	
	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数
男子	34	24	0	0	22	20	56	44
女子	16	13	25	23	40	38	81	74
合計	50	37	25	23	62	58	137	118
合格率%	74%		92%		94%		86%	

専修学校進学では、職業選択を踏まえた分野・学校選択が重要で、単に興味ある分野を勉強することだけでなく、その道のプロとして生きる決意を持った進学が必要です。その意味で、本校専修学校希望者は、担任や係との綿密な相談と学校見学会参加などで実際に自分の目で確かめて学校選択した生徒が多く感

心しています。分野は、医療看護や衛生(調理・美容)の希望者が増加する一方、多岐にわたる分野に進学しています。就職・進学いずれの進路も、一二年次からしっかりと自分の将来を考え、明確な目標を持って進路実現のための準備に入ることが大切です。

編集後記

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。高校生活三年間を振り返ってみると、いったいどんな思い出、どんな経験が詰まっているのでしょうか。大きな感動あり悔しさあり、たとえ小さなエピソードであっても一つ一つが現在のみなさんでしか味わえない大事な時間だったと思います。そして一番の宝物は苦楽をともにした仲間たち。

また、子供たちをずっと見守って下さった保護者の皆様、本当にご苦労様でした。ここまでの道のりは、実に様々で言葉に尽くせないものだと思います。私事ですが自身も九里を卒業、今年には長男に次いで次男も九里の卒業生となります。九里学園の歴史を感じるとともに脈々と受け継がれる「礼と譲」の精神を、息子たちと再度勉強させて頂きました。

九里学園の教育は、学園長、校長先生はじめ諸先生方のあたたかい人間教育だと思います。私自身もこれだけ助けられて来たことでしょ。うか。これからも人生において礎となり、迷った時には道標となっていく事でしょう。心より感謝申し上げます。

さあ卒業生のみなさん、力強く未来へ歩き出しましょう!みなさんには今まで支えて下さったご家族、先生、友達とたくさんの方がいます。そしてこれからも。

(高崎)